
東方project2次創作～俺が幻想入りしたZE!!～

蒼海斗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

東方project 2次創作〜俺が幻想入りしたZE!!!〜

【Nコード】

N7018X

【作者名】

蒼海斗

【あらすじ】

主人公夜霧炎耶はある日出会った素敵な素敵なお姉様八雲紫によって幻想郷に拉致されて生活するはめになる
そしてそこで色んな妖怪やら人やら吸血鬼とか幽霊とかに出会い生活する物語になる予定!!

俺が幻想入りしてしまいました！！（前書き）

初めまして蒼海斗です。

これは文才などが無い俺が思い付きで書いた小説です！

見苦しいところなどもあるでしょうが見てやってください！

俺が幻想入りしてしまいました！！

10月15日俺はこの日を永遠に忘れないだろう
何故なら俺はこの日から神秘的な体験をするのだから物語の発端は
ある一人の若いお姉様にあつた事に始まる

〈回想〉

お姉様『フッフ坊やこちらにいらっしやい』

俺『うん？あそこに金髪魅惑のボディの人が！！なるほどこれはい
わゆる逆ナンというやつか！！どうやら遂に俺にも春が来た！！』
友人A『ちよつとまでよあの人どうみても胡散臭いぞ近づかない方
が…て聞いてないし』

友人B『おいA彼奴はほつといてもう帰ろう』

友人A『そうするか彼奴の事だしなんとかなるだろうじゃあな炎耶^{えんや}』

炎耶『うん？じゃあなモブキャラ2人』お姉様『ふーん貴方炎耶君
ていうの良い名前ね苗字は何かしら？』

炎耶『ありがとうございます！！苗字は夜霧^{やぎり}です！』

お姉様『そう夜霧ね…ああそういえば私の自己紹介してなかったわ
ね私の名前は八雲紫よろしくね夜霧炎耶君』

炎耶『よろしくお願ひします八雲さん！！』

紫『それで1つ貴方にお願ひがあるのよ聞いてくれるかしら？』

炎耶『貴女の頼みなら何でも聞きますよ』

紫『そう嬉しいはなら貴女幻想郷に来なさい』

炎耶『どこですかそこ？』

紫『此所とは別の世界よ後これは命令であつて貴方に拒否権は無い
わ幻想郷へ一命様ご案内！』

炎耶『はい？どういう意味でウワァア！』

突如地面にスキマがあらわれを吸い寄せられるように落ちていった

⋮

俺が幻想入りしてしまいました！！（後書き）

最後まで閲覧ありがとうございます！！

感想などをくれるとありえないぐらいに喜ぶのでくれると有難いです！

射命丸文登場！（前書き）

第2話です！

射命丸文登場！

突如地面にスキマがあらわれを吸い寄せられるように落ちていった…
　　～スキマの中～

炎耶『ひい！！なんだよ気味悪い！！うわちよつとこんな現実だなんてありえねえ！！』

「スキマ内部でなにがあったかは皆様のご想像にお任せしますww。」

～幻想郷妖怪の山～

カパとスキマが開き炎耶は空から落ちる

炎耶『あははは！！ママパパ見て僕空飛んでるよ！あははは………』
スガーンと勿論炎耶は空を飛ぶなんてチートは持ってないので墜落？『あやや？今の音はなんでしよう？何やらスクープの予感ですね！！行ってみましょう！！』

～墜落現場～

炎耶『うん？俺もしかして生きてる！？嘘だろ生きてるなんて空から落ちて生きてるなんて普通はありえないぞ！？』

？『それでも生きてるなら良かったじゃないですか貴方の考えてるように普通なら死んでましたよだからラッキーじゃないですか』

炎耶『え？うんまあそりゃそうだ生きてるならラッキーだな。ところで貴女は？』

？『初めまして！！私は清く正しい新聞記者射命丸文です！よろしくお願いしますね人間さん？』

炎耶『えつと夜霧炎耶ですよろしく』

文『炎耶さんですねわかりました。ところで貴方は一体どうして空から降って来たのですか？どうして生きてるのですか？』

炎耶『ちよつ待って下さいよ射命丸さん！！そんな一変に質問されても答えられませんよ！』

文『あやや少し急かしてしまいましたね。ではまず1つ質問ですよ』

ろしいですか？』

炎耶『あっはい』

文『貴方は一体どうして私の姿を見て何の反応も無いのですか？普通の人間なら大抵私を見ると何かしら反応を示すのですが貴方は何も疑問に思わないのですか？』

炎耶『疑問で言われてもな…え？羽が生えてる？というか空飛んでることい？何故？どうして？Why？』

文『まさか今更気付いたんですか？…』

炎耶『はい！！』

文『ふふ貴方は面白いお人ですね。私が羽が生えていて飛んでるのは鴉天狗という妖怪だからなのですよ』炎耶思考（妖怪？鴉天狗？射命丸文？はてなんだらうこのキーワードは何か引っ掛かるんだよなそういえば八雲紫さんと会ったときも何か引っ掛かたんだよな…）
文『どうなされましたか？炎耶さん急に真剣な顔をして？』

炎耶『いやいや何もありませんただの考え事ですよ』文『炎耶さんそれともう一つ聞きたいのですがこれからどうするつもりですか？』

炎耶『そりや家に帰る…いやそれが無理だから言ってるんですよ

…』

文『はい貴方の想像してるように彼女に連れて来られたならここで生活するしかありませんね』

炎耶『なら取り合えず「人間」を探してみますよ山から降りればまあ会えるでしょうし色々世話になりましたありがとうございます
射命丸さん』

文『炎耶さん待って下さい！！』

炎耶『なんですか？』

文『私貴方に興味を持ちましたなので私が責任を持って貴方を預かりましょう！！』

炎耶『どういう意味ですか？』

文『貴方のその思考の切り替えの早さが気に入ったので私と一緒に暮らしましょうという意味です！！』

炎耶『はい？俺が射命丸さんと同居？』

炎耶（ちよっ！！もしやこれはフラグという奴かそうなのか！！！そのなのだろう！！！）

文『それとも人里に行きますか？』

炎耶『是非射命丸さんと同居さしてください！！』

文『あやや即答ですね…それと同居するなら私の事は気軽に「文」と呼んでくださいね』

炎耶『わかったよよろしく頼むよ「文」。』

文『ええこちらこそよろしくお願ひします炎耶さん』文（ふふ彼には私と過ごす分たっぷりと仕事を手伝ってもらいますよう）

炎耶（拜啓お父様お母様僕は遂に女の子と一緒に楽しく生活できるようです幻想郷に来て良かった！！！）

射命丸文登場！（後書き）

最後まで閲覧ありがとうございます！！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7018x/>

東方project2次創作～俺が幻想入りしたZE!!～

2011年10月19日03時11分発行